

平成30年第3回中津川市議会「定例会」  
一般質問通告表

平成30年6月13日(水)・14(木)

質問日	順序	質問事項	質問者	答弁を求める者	発言所要時間 (質問方法)
6 月 13 日	1	1. 当市の観光行政について 2. 病院対策について	森 益 基	市長 定住推進部長 商工観光部長 病院事業部長 文化スポーツ部長	30 (一問)
	2	1. 行財政改革について	牛 田 敬 一	市長 政策推進部長 総務部長 財務部長 生活環境部長 定住推進部長 健康福祉部長 文化スポーツ部長	20 (一問)
	3	1. 防災について	田 口 文 数	市長 生活環境部長 基盤整備部長 農林部長	30 (一問)
	4	1. 市民病院と農政への市民要望について	粥 川 茂 和	市長 財務部長 農林部長 基盤整備部長 リニア都市政策部長 病院事業部長 定住推進部長	40 (一問)
	5	1. 人口減少・少子高齢化による影響について	吉 村 孝 志	市長	20 (一問)

6 月 14 日	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 中津川市の政策推進について</li> <li>2. 東美濃ナンバーについて</li> <li>3. 市有財産（一部施設）の民間譲渡等について</li> </ul>	吉村久資	市長 副市長 政策推進部長 財務部長 健康福祉部長	40 (一問)
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 中心市街地活性化対策について</li> </ul>	鈴木清貴	市長 副市長 商工観光部長	25 (一問)
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 救急無線談合における違約金請求について</li> </ul>	佐藤光司	市長 総務部長 消防長	25 (一問)
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 消防デジタル無線化工事の談合問題について</li> <li>2. JR坂下駅の駅員配置について</li> <li>3. 坂下病院の有床診療所化について</li> </ul>	木下律子	市長	40 (一問)

1. 当市の観光行政について

(1) 観光地域づくりについて

国土交通省・中部地方整備局主催「第2回観光地域づくりに関する意見交換会」が、去る5月21日当市において開催されていますが、その内容などについて、今後の観光行政を進める上で参考になる助言等が頂けたと伺っています。以下具体的に質問いたします。

- ① 今回は2回目ということですが、第1回はいつ、どのような内容で開催されていますか。
- ② 今回の意見交換会は、中山道3宿と苗木城跡、神坂PAスマートインター予定地を見学されたと聞き及んでいますが、個々に助言などありましたらお聞かせ頂けますか。
- ③ 全国的に外国人観光客が増加傾向にあります。当市でも中津川駅周辺で多数の外国人観光客を見かけます。今後さらに外国人観光客を呼び込む取組や対応策などの考えはありますか。
- ④ 今回の意見交換会の中で、インバウンド対策のひとつとして学校教育との連携について触れられているようですが、その内容はどのようなことですか。

(2) 観光と地域の活性化、観光と移住・定住推進について

平成30年度の観光政策と移住・定住にむけた様々な取組の中で、29年度に引き続きANA総研との連携事業があります。また新たな取組の中で移住・定住に向けたPRドラマの作成を計画、5,400千円の予算計上をされています。そこで以下の質問をいたします。

- ① ANA総研との連携事業のうち具体的な取組をお聞きます。
- ② 移住・定住に向けたドラマの概要(内容、スケジュール、放映方法など)は、どのようなものですか。お答えが頂ける範囲でお知らせください。
- ③ テレビ放映の影響は大きいと承知していますが、ご案内のとおり現在放映中のNHKの朝ドラの反響は大変大きくなっています。当市が作成計画をしているドラマをPRするうえでも、かなりの即効性があるものと推測します。期待できる経済効果をどのように考えていますか。
- ④ 2020年のNHK大河ドラマが明智光秀を描いた作品であると前宣伝されていますが、現在の朝ドラの反響と同様、この地域の盛り上がり期待できそうです。これに関して、何らかの情報をつかんでみえますか。

### (3) 体験型観光について

当市は美しい自然と農山村の持つ文化が残され、四季を通じて楽しむことができる地域です。都会から田舎暮らしに憧れる方も少なくありません。恵那山や付知川での体験観光をはじめ、林業体験、農業体験、漁業体験など農山漁村での体験活動を促す法案も審議されている昨今、当市ならではの体験観光について伺います。

- ① ウェストン祭や富士見台の山開き式が毎年開催されていますが、こうしたイベントにあわせて、山岳観光(登山など)に著名な方をお招きするようなお考えはありませんか。
- ② 今国会で、農山漁村での体験活動を促す議員立法の案「青少年自然体験活動等の推進に関する法律(案)」が超党派の国会議員でつくるPTから示されました。当市では、これに関連する事業は出来ないものか。ご所見を伺います。
- ③ 平成27年度からの5カ年計画である「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4年目にあたる本年度、創生担当大臣のもと「わくわく地方生活実現会議」が開催されていますが、当市では、この会議の内容を盛り込んだ(先駆けた)政策ができないか。伺います。

### (4) 文化財・文化人の活用について

当市には、国・県・市が指定している多くの文化財があります。また、当市とゆかりのある著名な文化人もいます。そうした言わば当市の「財産」を観光面で活用できないか。お伺いします

- ① 市内の神社仏閣にまつわる伝奇とか、地藏様や観音様の活用はいかがですか。
- ② 文化人、この頃報道された種田山頭火などの活用は考えれませんか。
- ③ マスコミ受けする或いは都会の生活から田舎での伝説や物語を探求する観光戦略について、ご所見があればお伺いします。

### (5) 特産品に特化した観光について

当市は栗きんとん発祥の地とされ、栗の和菓子など銘菓が数多くあります。こうした特産品を活用した観光戦略についてお伺いします。

- ① 中心市街地の空き地、空き家、空き店舗対策に絡めて、和菓子の店を誘致し、「和菓子通り」なる戦略はいかがでしょうか。  
六斎市でも五平餅祭りと銘打って行われていますが、これを通り形式で工夫できないものなのでしょうか。ご所見を伺います。

## 2. 病院対策について

広報6月号の坂下病院の現況と今後では、急速に進んでいく集約の様子の記事がありますが、先行を心配する住民の不安は募るばかりです。

以下質問をいたします。

- ① 広報6月号には「一般病床を中津川市民病院に集約します」とあります。関係手続き(届け出)は、厚労省もしくは県に対して行うものですか。
- ② 昨年、今年とインフルエンザが猛威をふるい、多くの患者さんを坂下病院でも受け入れられました。前述の手続きをした場合には、こうした患者さんは受け入れられないということですね。確認のため伺います。
- ③ それでは、この先ドクターが確保でき入院の受け入れが可能となっても、即座に病床を元に戻すことは不可能ですか。
- ④ 民営化、指定管理などの動きもある中で、集約の届けをギリギリまで留めることはできませんか。
- ⑤ 通院に不便な患者さんの為に、市民病院への交通手段をどのように考えておられるか。ご所見を伺います。

一般質問要旨

1. 行財政改革について

行財政改革は、財政面での経費節減と効率性ととも、行政サービスの質を向上させることを目的として行われるものです。

6月の定例会に計上された補正予算は、約 12 億円にものぼり、多治見市 8,486 万円、土岐市 376 万 8 千円、瑞浪市 3,000 万円、恵那市 3 億 9,690 万円と桁違いの予算となっています。自然災害の影響等があったにしても当初予算 371 億円に加え、事業が更に増加し、効率性が求められます。

参考：平成 28 年度 決算カードの数値

市名	歳出決算額 a	職員数 b	a/b 仕事量	人口	面積
中津川市	380 億円	756 名	50,264 千円	80,296 人	676.46 km <sup>2</sup>
多治見市	346 億円	698 名	49,570 千円	112,786 人	91.25 km <sup>2</sup>
土岐市	204 億円	521 名	39,155 千円	59,479 人	116.02 km <sup>2</sup>
瑞浪市	159 億円	367 名	43,324 千円	38,427 人	174.86 km <sup>2</sup>
恵那市	287 億円	531 名	54,048 千円	51,667 人	504.24 km <sup>2</sup>

上記は、職員 1 人当たりの仕事量を単純に見える化したもので、約 5,000 万円/年間の仕事をこなさなければならず、定型業務の効率化が必要。

(1) 経費節減について

- ①平成 30 年度の経費節減の考え方を伺います。
- ②特に重点を置いて取り組む内容を伺います。
- ③平成 27 年度より平成 29 年度の職員・臨時職員などの人員の推移と職員の時間外推移を伺います。
- ④その時間外に対する対応策を伺います。
- ⑤市有財産（施設）運用管理マスタープランの進捗状況を伺います。
- ⑥平成 27 年 12 月に公用車の管理状況を質問しましたが、現状を伺います。
- ⑦現火葬場の維持管理経費を伺います。

(2) 効率性について

- ①事業を効率よく進めるうえで政策推進部は、重要な役割を果たす部署と考えます。前任者から引き継がれた内容と部長の方針または考え方を伺います。
- ②本年度も移住定住推進が中心となった事業が展開されると考えますが、関連する部署との連携がハード面において非効率ではないかと思えます。思い切ったレイアウト変更などの考えはないですか。

(3) 事業の進捗について

- ①新火葬場事業について伺います。

②中心市街地活性化の推進について伺います。

(4) 市民サービスについて

①聴覚障害の方とのコミュニケーションを図るツール（音声で文字に表れる機能）を提案し導入が図られましたが、現状を伺います。

②過日、自治体総合フェアを調査したところ、市民窓口のおもてなしとして例えば机の上面が身長に合わせて上下する机が展示されていました。このような展示会を職員が調査する機会は、ありますか。

③市民病院の対応について、市長直行便が寄せられていると思います。対応者も多忙のことと察しますが、丁寧な対応に心掛ければ、後々余計な時間を費やすことが無くなると考えます。このような事例をどう生かすのか伺います。

④各地域における雑草除去・道路陥没等の不具合について、職員から所管課に連絡する仕組みはありますか。

⑤あれば、年間どのくらいありますか。

以上

発言通告に基づきまして、一般質問をさせていただきます。

1、防災について質問をさせていただきます。

今までも多くの議員が一般質問をされてきましたが、改めて質問をさせていただきます。

全国各地では大規模な被害をもたらす災害が発生しております。災害対策基本法等に基づき、予防、応急、復旧・復興というあらゆる局面に応じ、国と地方公共団体の権限と責任が明確化されています。

中津川市の取組状況をお聞きします。

### 避難所

- ①避難所に来られた方々で最初に（初動）誰が主体となっていくのでしょうか、お伺いします。
- ②各地域の避難所マニュアルの作成は進んでおりますか、お伺いします。
- ③避難所マニュアルを作成した後に、専門的な方に評価などはして頂いているのでしょうか、お伺いします。
- ④医療、保健、福祉の専門職の方の連携はどうですか、お伺いします。
- ⑤公共施設にある緊急用機械（発電機等）の点検整備はされておりますか、また、学校施設の備品も点検整備されておりますか、お伺いします。
- ⑥避難所、避難場所として指定避難所が 95 箇所ありますが、防災備蓄倉庫の設置状況はどうなっておりますか、お伺いします。
- ⑦避難所の長期と短期の施設の（縮小時の）振り分けはしておりますか、お伺いします。
- ⑧避難者カードや避難者リストなどの様式類や筆記用具など必要な受付機材は整備されておりますか、また、書式等は市で統一した書類になっておりますか、お伺いします。
- ⑨避難所として協力していただく、介護保険施設（要支援者の受け入れ）や民間施設の協力協定はどのようになっていますか、お伺いします。



⑩要支援者の方の地域での安否確認や避難体制の現状はどうなっておりますか、お伺いします。

⑪平成 26 年 3 月議会において、ヘルプカードの普及推進の一般質問をおこないました。ヘルプカードは、障がいの特性や具体的な支援内容、緊急連絡先などをあらかじめカードに記入するもの。本人が持ち歩くことで緊急・災害時に周囲からのスムーズな支援が可能となります。岐阜県は、平成 29 年 8 月 1 日よりヘルプマークの配布を開始しました。障がい者の方や介護を必要とする方に配布することを日常的に推進してはいかがでしょうか、お伺いします。

⑫避難所となる施設での、情報共有や伝達のためにデジタル無線の配置が必要となると思いますが、設置のお考えはありますか、お伺いします。

⑬災害時には、衛生面、性別役割分業観、暴力被害など、女性への配慮が必要です。愛知県豊川市では、女性に焦点をあて、防災対策に関する知識の習得を目的とした「女性のための防災ハンドブック」を作成しました。中津川市も地域にあった女性用の防災ハンドブックの作成をされてはいかがでしょうか、お伺いします。

⑭北野、坂本の曙の方から、防災行政無線が聞こえづらいと話を伺いました。激しい大雨の時は外に出ても聞こえないとのこと。中津川市全体でも聞こえづらい地域はまだまだあると思いますが、調査などはされておりますか、お伺いします。

⑮瑞浪市では、全国瞬時警報システム（J-ALERT）による緊急地震速報、国民保護情報などの緊急情報や市が発信する避難情報など、市民の皆さんの安全を守るために防災ラジオを全戸無償貸与で配布しております。聞こえづらい地域の方には負担はかかりますが、戸別受信機で対応されてはいかがでしょうか、お伺いします。

⑯急傾斜地の整備状況、計画はどのようになっていますか、お伺いします。

⑰岐阜県では、ため池防災支援事業として、補助率 50%でため池マップ、点検調査を平成 30 年度予算化しております。マップの作成はされておりますが、多くあるため池の点検調査はどのような現状ですか、お伺いします。

まとめ

近年、気候変動により海水温度の上昇、温暖化により大型の台風や集中豪雨が多くなっております。

今後も住宅の建設、太陽光発電などの開発が進めば少しの雨でも側溝が溢れ川の氾濫となります。

中津川市は自然豊かなまちですが、時には自然が脅威となり災害を引き起こします。

最近、よく川の溜まった砂を掘り出してほしい、側溝を大きいのに変えてほしいとお聞きします。地域の方は自分たちの生活に心配をしております。

予算に関わる事業ですので、すべての要望にお応えできませんが、災害に繋がらないように改善改修をお願いして一般質問を終わります。

市民病院と農政への市民要望について

無党派 粥川 茂和

趣旨

一般質問と討論は、議員の貴重な発言機会だ。とりわけ一般質問は市民の多様な意見や要望を代弁が可能で、執行部の見解を質して議論することもできる。

そこで今回は病院と農業について、市民の皆さんに代り質問し、緊張感のある議論を行ないたい。

**Q 1.** 中津川市民病院へのアクセスについて

新公立病院改革プランにより、国保坂下病院と中津川市民病院の機能分担がすすめられ、市民病院の利用が増えた。

坂下病院を利用していた方々は、市民病院に変わることで戸惑いもあり、種々の要望があるため以下の質問を行う。

(1) JR 中津川駅でのバス待合時間について

JR ダイヤと北恵那交通 恵那線中津川市民病院行バスの連絡が悪く、待ち時間が1時間以上もあり、健常者はともかく治療中の市民から改善の要望を受けている。所管部局はこのことを承知し改善の手立てを講じているか？

(2) 市民病院への道路アクセスについて

東濃東部都市間連絡道路が計画中だ。現在、市民病院への道路アクセスが悪いが、供用開始で随分解消されると期待する。開通は何年先の見通しか？

(3) 国道 257 号の追分信号で市民病院方向の信号待ちは、北進車両が多い時間帯は一回で通過できない。信号機に右折矢印の表示機能が必要と要望がある。所管部局はこのことを承知し改善の手立てを講じているか？

- (4) 追分信号から市民病院に向かう、市道中津 522 号線の最初の進入箇所は、左カーブの途中にあり、予告看板も無く、急ブレーキ、急ハンドルで左折する必要があり危険だ、改良の必要性を認識していないか？
- (5) 国道 19 号の会所沢信号を經由し、1 級市道松源寺大西線から 2 級市道松源寺大平線は、山道で立木が密生し凍結し易い状況にある。所管部局はこのことを承知し改善対策を検討しているか？

**Q 2. 中津川市民病院の施設環境について**

- (1) 時間外通路の混雑解消について  
入り口付近に救急処置室や待合所があり、通院者の歩行に支障があるため改善要望がある。所管部署はこのことを承知し対策を検討しているか？
- (2) 駐車スペース確保について  
ようよう市民病院にたどり着いても、駐車スペースが無いことがあると苦情を聞く。所管部署はこのことを承知し対策を検討しているか？

**Q 3. 農業補助事業について**

- (1) 補助事業の目的について  
事業の目的は幾つかあるが、①農業施策の推進にあたり、投資効果が早期に表れない、もしくは投資の回収が困難な事業に対する助成。  
②投資を活発にし、施策の目的を早期に実現するための助成。が代表的であるが、所見は？
- (2) 農産物ブランド化の目的について  
ブランド化の目的は「有利販売」であり、生産者の所得が向上により農業振興が期待できる。  
そのため、①食味の向上などによる品質の差別化が第一義で、②市場ニーズに応える数量確保のため、生産規模の拡大と堅持が望まれるが、所見は？

(3) 農産物ブランド化推進事業について

ボカシ肥料は耕土を団粒構造に変え、疲労した耕土に活力を与え、トマトの育成段階に応じた施肥効果を高める。

施肥量は10アール当たり400kgが理想で、価格は同重量で39,000円と高額である。農業技術普及員の指導が一様でないこともあり、使用実態は加子母以外では20～50%と低調で、トマトの食味にバラつきが出ている要因を否定できない。

当該事業は、植物の生育に必要とされる数々の微量要素を配合したミネラル肥料と、その施用量決定の資料とする土壌診断費用を助成するものである。

- ① 当該事業はミネラル野菜の生産拡大やブランド化の強化、生産意欲の向上が目的との認識で良いか？
- ② ボカシの施肥目的について承知しているか？
- ③ トマトの味について、加子母と他地域の違いとその理由を承知か？
- ④ 当市内で栽培されているトマトの品種は、桃太郎と麗果で各品種の特性、栽培方針を承知か？
- ⑤ 加子母の圃場は長年の施用でミネラルが蓄積され、少量で目的が達成されていることを承知か？
- ⑥ ミネラルブランドは、トマトだけではないか？ナスも事業対象にすることについて、どの様な議論があったか？
- ⑦ ブランド化の意義に照らし、当市のトマト産地としてのあり方をどの様に考えているか？
- ⑧ H28年3月の質問後、どの様な検討がなされか？
- ⑨ 今後の当該事業のあり方について、どの様に考えるか？

(4) 繁殖メス牛の導入補助について

当市内で飼養する繁殖メス牛は、H19年の742頭から年々減少し、H30年には431頭となった。同様に飼養農家も、同年80戸から41戸へと半減している。

県は飛騨牛ブランドの推進のため、飛騨牛優良繁殖雌牛保留支援事業を実施しており、頭数維持のための入れ替え導入や、自家繁殖牛のメスを繁殖用に保留した場合、1頭当たり117千円を補助しており、当市も同額の補助金を付け、1頭当たり合計234千円の事業としている。

一方増頭に対する繁殖メス牛増頭支援事業は、県の補助金が1頭当たり10万円であるが、当市は補助していない。

- ① ブランド化の意義に照らし、両事業に対する当市の考え方を質す。
- ② 両事業には数値などの目標があるか？
- ③ 両事業に対する今後の考えを質す。

(5) 繁殖センターの開設について

5月21日に行われた「繁殖センター研究会」は県の畜産振興会長、恵那農林事務所長、JA組合長らが出席したが、中津川市は農林部長以下が出席、従前の発言に止まったと聞く。

- ① 産業建設委員会の所管事務調査報告によれば、繁殖センターの開設はH30年度中に場所決定するとあるが、どのような状況にあるか？
- ② 5月21日の会議への中津川市役所出席者についての所見を質す。
- ③ H29年9月議会の市長答弁は、当市も飛騨牛産地であり、ブランド確立のために取り組む覚悟を言及しながらも、「飛騨市に於いても公費投入の甲斐もなく、未だ当初計画が未達成」を理由の一つに挙げ、慎重な検討が必要とあったが、ブランド化の意義や補助事業の目的に照らして言えば当該リスクがあるからこそ、市の協力が必要ではないか？

## 一 般 質 問

中津川自民クラブ 吉村 孝志

### [質問の背景]

日本では、人口減少・少子高齢化に伴い様々な問題が起きています。当市においても子供の数が年々減り、2025年には団塊の世代の方々が高齢者となり、住民基本台帳から見ますと、合併当初86,000人の人口が平成29年4月1日現在79,775人と大きく減少しています。今回私は、人口減少・少子高齢化により起こっている問題、起こりうる問題について質問していきたいと思います。

#### (1) 教育への影響について

私の住んでいる地域では、平成29年度に田瀬保育園と下野保育園が合併し、平成32年度から田瀬小学校と下野小学校が合併、その後平成35年度に旧福岡町の全小学校が一つになる計画です。地域にとっては寂しい限りですが、これも少子化がもたらす問題であると考えます。そこで質問します。

- ①教育で、少子化によって起こる大きな問題は何ですか。
- ②幼稚園、保育園、小学校、中学校それぞれにその問題がありますか。
- ③中学校では、多くの生徒が必要な部活動が一つの学校では成り立たず、他の中学校と一緒にいるか、廃部になるとかの問題はありませんか。
- ④市内には、いくつかの給食調理場がありますが、今後いくつかの給食調理場をまとめながら、大きな給食センターにしていく考えはありますか。
- ⑤小中連携、一貫教育を今後進めていく考えはありますか。

#### (2) 財政への影響について

平成30年度の重点施策では、若者回帰に力を入れ、人口減少に歯止めをかけようというものであり、私も必要だと考えます。もう一つは、当市の総合計画の前期総仕上げの年でもあります。そこで質問します。

- ①人口減少が進むことにより、普通交付税が減ってくると思いますが、合併当初と比べて現状でどの程度減少していますか。
- ②その対策は何か考えていますか。
- ③超高齢化になる事により、各種保険料金が上がってくるものと思いますが、このことについて何か考えていますか。
- ④総合計画の前期総仕上げですが、具体的な事業等を示していただけないか。
- ⑤総合計画の中期に向けてどのように考えていますか。

#### (3) 地域への影響について

私の地域では深刻な問題です。私の調べたところでは、1町内会で10数軒から10

0軒以上、区長さんにおいても数10軒から800軒あまりを一人で統括するところまで様々です。問題は、各町内会にいろいろな役職があります。それなりに大切だと思いますが、市から依頼される役職や町内会の役職もあり、町内会の大きさが違っていても、ほぼ同じ役職が必要となります。小さな町内会では、何とかしてほしいという声があります。小さい町内会の問題ではあるかもしれませんが、今後人口減少が進むことにより、市内全体にも影響してくる問題だと思います。そこで質問します。

- ①町内会という組織は、市内全域にありますか。
- ②各地域に市から依頼している役職は、どのくらいあり、何名になりますか。
- ③住みよい環境づくり推進委員は何の目的で、どんな役割で、どんな単位で、市全体では何人で、どのように構成されていますか。
- ④農業振興推進委員は何を目的に、どんな役割で、どんな単位で、市全体では何人でどのように構成されていますか。
- ⑤地域福祉推進員は何を目的に、どんな役割で、どんな単位で、市全体では何人でどのように構成されていますか。
- ⑥女性防火クラブは何を目的に、どんな役割で、どんな単位で、市全体では何人でどのように構成されていますか。
- ⑦市から依頼している役職の中で、人口減少の影響や活動が少ないなどの理由で見直しを予定している役職はありませんか。
- ⑧各役職のとりまとめをどこかの部署で行えませんか。
- ⑨今後、市依頼の役職も含めて、市と地域の在り方をどうしていきたいか伺います。

人口減少・少子高齢化の問題はこれだけではなく、これはほんの一部にすぎないと思っています。これから先、大変な時代になります。市長をはじめ行政の皆さん並びに私たち議会も力を合わせ立ち向かわなければなりません。私がはじめて一般質問をさせて頂いたときに言った、4WDが本当に必要な時だと思います。

一般質問を終わります。



# 平成30年第3回定例会一般質問

平成30年6月5日提出

吉村 久資

【発言内容】

## 1. 中津川市の政策推進について

### 「質問要旨及び背景」

伊藤政策推進部長におかれましては、県職員から中津川市へ派遣され部長という役職の中で、二ヶ月余が経過しました。大変お疲れ様です。2年前の6月議会においては、高橋前推進政策部長にも質問をいたしました。県職員という外からの立ち位置からの中津川市の印象を含め以下質問をいたします。

### 「質問」

- ①県職員という外からの立ち位置からの客観的視点での中津川市の印象、イメージについて伺います。
- ②中津川市の魅力について伺います。
- ③中津川市の施策について、県職員当時に他の自治体に見られない特徴的なものと捉えていたものがあれば伺います。
- ④「中津川市総合計画 前期事業実施計画」の最終年度となります。着任された時には平成30年度当初予算のルールに乗り、行政が動き始めた時でした。平成30年度当初予算についての率直なる所見を伺います。
- ⑤中津川市の重要政策の企画立案、各政策の推進と部署間の連携、市長及び行政と市民をつなぐ広報を所管する部署の長として、重きを置いて望む所信を伺います。

## 2. 東美濃ナンバーについて

### 「質問要旨及び背景」

4月25日に東美濃ナンバー実現協議会の会合が開かれています。申請期限を9月末までの延長を国が認めたわけですが、以下、中日新聞の掲載記事を引用しますが、最終ラインの9月末に向けた再度の住民アンケートの予定の無い活動計画が事務局側から提案され、自治体側から異論が相次いだとありました。

記事によりますと、水野瑞浪市長は「賛成意見が50%を超えたという確証を持って申請するのでなければならぬ。周知の機運も高まらない」。古川多治見市長は「住民の意向調査を全て避けるのは困難」と発言され、田代会長は会議後の取材に「前と同じようなアンケートでなくとも、住民の意向の確認は必要」との認識を示したとありました。

以下質問をいたします。

### 「質問」

- ①青山市長の発言機会があったのか定かではありませんが、発言されていれば内容を伺います。
- ②3月議会での私の「中津川市の周知展開」についての質問に、「連携による事業効果をホームページや広報等様々な手段により周知を図っていく」と答弁されました。また、実現協議会で示された「5～8月に広報誌やチラシ配布、講演会の開催などで周知する

内容」に異論はなかったとあります。「広報なかつがわ4月号」には、本年1月に実施された「東美濃ナンバー導入に向けた住民意向調査の結果と方針」が掲載されましたが、同誌5・6月号及び市ホームページに効果の周知記事を私は見ることはできませんでしたが、実績を伺います。

- ③中津川市の今後の周知方法と時期について伺います。
- ④中津川市の「住民の意向確認の方向性と方法」について伺います。
- ⑤中津川市の今後の活動計画の工程を伺います。

### 3. 市有財産(一部施設)の民間譲渡等について

「質問要旨及び背景」

市有財産については、「市有財産運用管理マスタープラン」の実行による施設維持管理費の削減に努めている現状です。おおきなところでは、榑クアリゾート湯舟沢の民間譲渡の完了、本議会に議案上程されている紅岩山荘の民間譲渡があります。そうした中で、以下の3施設について現状の確認と方向性について以下質問いたします。

「質 問」

【倉屋温泉】

一般財団法人 付知町振興公社に「花街道」とともに指定管理制度を活用していますが、市有財産であることには変わりありませんので伺います。付知町振興公社の決算報告書から「倉屋温泉」に係る部分が読み取れないので確認を含め数値から質問いたします。

- ①平成25年度(第25期)からの利用者数の推移を伺います。
- ②同期間における経常損益について伺います。
- ③付知町振興公社から寄附を受けていますが、これまでの総額について伺います。
- ④同期間における施設修繕及び改修費、更には内容について伺います。
- ⑤今後想定される施設修繕及び改修について、内容と費用、時期について伺います。
- ⑥「倉屋温泉」施設の民間譲渡の方向性について伺います。

【ほっとサロンとかたらいの里】

福岡にあります「健康増進施設ほっとサロン」と川上にあります「かたらいの里」については、それぞれ直営での運営であります。決算認定時においてあまり表に出ていなかったと考えます。保健福祉施設であります。私は決して民間譲渡の対象外施設ではないと考え以下質問いたします。

- ⑦それぞれの施設について、過去3年間の利用者数の推移を伺います。
- ⑧同期間におけるそれぞれの施設の収支決算について伺います。
- ⑨同期間におけるそれぞれの施設修繕及び改修費、更には内容について伺います。
- ⑩それぞれの施設の保健福祉に果たしてきた役割、効果について伺います。
- ⑪今後想定されるそれぞれの施設修繕及び改修について、内容と費用、時期について伺います。
- ⑫それぞれの施設の維持管理の方向性について伺います。

## 平成30年第3回定例会一般質問

18番 鈴木清貴

### 1. 中心市街地活性化対策について

#### 「背景」

中津川市は中山道の宿場町として産業・文化を発展させてきた。江戸時代は尾張藩に属していたが明治30年に中津川町、手賀野村、駒場村の3町村が合併し中津町が誕生した。

昭和26年には苗木町を合併し昭和27年4月に岐阜県下6番目の市制を施行した。

その後、町村合併法を契機に坂本村、落合村、阿木村、神坂村と順次合併した。

さらに平成の大合併により、平成17年2月には隣接の6町村の坂下町、川上村、加子母村、付知町、福岡町、蛭川村と、全国唯一の越県合併となった長野県の山口村と合併し東西約28km、南北約49km、総面積676km<sup>2</sup>の現在の中津川市となった。

中津川市の中心市街地は中山道の宿場町である中津川宿の本町地区を起点に発展してきた。明治35年(1902年)に中央本線が現在の中津川駅(当時は中津駅)まで開通し、中心繁華街が本町地区から駅に近い東へと移動し、駅前には中心的な商業地域が形成されるようになった。駅前を中心的な商業地域とする時代は戦後も続き、再開発事業により駅前周辺の利便性が向上するとともに、多くの商業施設が集まっていた。

しかしながら、それまで中心市街地にあった公共施設は昭和47年に市役所、平成元年には市民病院が他区外へ移転している。

今後、リニアが開通しても、現在の中心市街地が引き続き中津川市の顔として、にぎわいの形成や活力の再生、歴史文化の継承などにより活気溢れるまちにしていかななくてはなりません。

#### 「質問」

①このように中津川市の中心市街地は中央本線が開通し現在の中津川駅前を中心として100年のスパンで発展してきました。

そこで最初に、現在の中心市街地の課題として上げられるものがあれば、それは何かお聞かせ下さい。

②新聞報道でもありましたが今般、中津川市の中心市街地活性化に取り組むまちづくり会社「株式会社まちなかラボ」が設立され取締役青山市長も就任されました。

そこでこの会社の役割と市との連携について市長の決意をお伺いします。

③今般、「第 2 次中心市街地活性化基本計画」(以下、基本計画と呼ぶ)が国へ提出されたこと耳にしました。そこで、この基本計画提出の経緯と基本計画の概要を伺います。

④この基本計画は国が 6 月には認可する予定と聞いていますが認可後は各事業に直ちに着手されると思いますが今後のスケジュールを伺います。

⑤中心市街地活性化の目玉は何と言っても「新町ビル跡地開発事業」であり、最優先で取り組むべきと考えます。そのためにも、まちなかの居場所づくりの核となる施設である複合施設の建設計画を早期に着手すべきと考えますが当局の見解を伺います。

⑥複合施設の中身については具体的な話は聞かされておりましたが是非とも図書館機能も入れるべきと考えますが当局のご所見を伺います。

⑦新町跡地周辺には市有地や開発可能な所が多く存在します。旧中部電力営業所跡地、にぎわい広場、旧中津川幼稚園跡地(現在公園になっている)等です。まちなかの賑わいのために開発可能な所には前田青邨画伯の生誕地である土地柄からも「美術館建設の構想」も必要と考えますが当局のご所見を伺います。

⑧将来的には駅前の「にぎわいプラザ」の今後の在り方も課題になってくると思います。現在、教育委員会、商工観光部、文化スポーツ部、等が入居されています。今回の基本計画の中にも「にぎわいプラザ」についてどのような記載があるか伺います。

⑨基本計画の「新町ビル跡地開発事業」である「複合施設建設」は市単独の予算では無理もあります。国からの支援措置が可能かどうか伺います。

「終わりに」

中心市街地活性化は当市の喫緊の課題であります。2027 年にはリニア中央新幹線が開業します。その後の 10 年 20 年先を見通して、商業の中心である中心市街地のあるべき姿を目に浮かべながら、今から基本計画の各事業を着実に実行に移され、活気と賑わいのある「まちづくり」を強力に推進されることを願いまして一般質問を終わります。

2018年6月議会

一般質問（一問一答）

佐藤光司

## 救急無線談合における、違約金請求について

本年3月、中津川市監査委員に対して「住民監査請求書」が提出されましたが、過日監査請求が棄却されました。

監査請求の内容は、談合の事実を「公正取引委員会」が独占禁止法第3条違反と認定し、「排除措置命令及び課徴金納付命令」が出された。

こうした決定に従い、発注者である中津川市に、請負代金の賠償請求がされれば、受注者である当該企業は、支払う義務を有すると解釈し、「中津川市は関係業者に対し、損害賠償をすべき」そのための手続きを取るべきだと住民監査請求を行ったものと私は解釈いたします。

マスコミでの報道でしか理解できませんが、(3月6日T新聞報道より一部)

公正取引委員会は、2017年2月消防救急無線のデジタル化を巡り、全国の約250の契約でO電気工業など5社が談合に関与したと認定。同社を含む4社に独占禁止法違反（不当な取引制限）で総額63億円の課徴金納付を命じた。

その後も賠償がされないため、住民でつくる市民団体がオンブズマン連絡会議と連携し住民監査請求を呼び掛けていた。談合があった場合に賠償を求める条項は多くの自治体が盛り込んでいるが、実際に請求した例は長野市、千葉県野田市などわずかという。(略)

結論を言えば、「不当に高い品物を売り込み」違反を「国」から指摘され、国に賠償金を支払ったものだと思います。中津川市の場合でも、契約上から、請負代金額の10%又は20%の違約金を請求できると解釈いたします。

## 具体的な質問

- 1 住民監査請求棄却の理由を教えてください。
- 2 「独占禁止法違反行為による排除措置命令、あるいは課徴金納付命令が確定した場合、受注者は発注者に対して、請負代金額の10分の1に相当する額を支払わなければならない。」と契約をしているか否かをお答えください。
- 3 他市の消防本部の対応を含め、現在の状況をお示し下さい。
- 4 今後の取組みの方向性をお示し下さい。
- 5 市民に対して説明が必要と思いますが、考え方をお示し下さい。
- 6 取組みについて、スピード感が見えませんがどうですか？
- 7 請負契約の内容にもよりますが、私は「違約金」を請求すべきと考えますがどうですか？

以上

## 1、消防デジタル無線化工事の談合問題について

3月議会でこの問題を一般質問しました。監査請求も住民から出されましたが「棄却」と報道されました。

- ①住民監査請求を棄却した理由は何ですか。
- ②設計会社はどこですか。
- ③設計会社はどのような契約ですか。
- ④いつ契約しましたか。
- ⑤入札について指名業者選定日や、入札日はいつですか。

内部資料を入手しました。

◆2011年11月30日に沖電機が設計会社にメールで「中津川消防の系統図案(3中継)を作成しました。ご確認をお願いします」と送っています。

◆2012年3月8日には設計会社や中央電子光学担当者あてに「中津川市質疑回答書作成のため ご支援、ご協力お願いします。詳細は以下のとおりです。日時：3月9日(金)13:30～ 場所：沖電機 岐阜支店 内容：質疑回答書の作成 以上」とメールで送っています。

- ⑥初めから沖電機ありきで契約が進んで行ったのではないかと疑いがあります。いかがですか。

- ⑦その他にも、たとえば仕様書43ページの受令機で「チャンネル切り替え ロータリースイッチタイプが望ましい」、「音量調整 ロータリーボリュームが望ましい」とあるとこれが沖電機仕様のデジタル無線のため、公募しても中央電子光学と沖電機岐阜支店の2社しか応募がなかったのではないですか。

山県市は沖電機と中央電子光学2社に違約金を請求したと新聞で報道されました。中津川市の場合は、工事請負代金は4億4940万円で違約金は10%なので4490万円となります。中津川市ではメールの資料で見る限り設計会社も含めて3社の談合の疑いがあります。いかがでしょうか。

- ⑧3社に違約金と損害賠償を請求しませんか？

## 2、JR坂下駅の駅員配置について

- ①中津川市は今年度から駅員配置の委託料をゼロにし、地元負担でいくと言う。なぜか。
- ②坂下まちづくり協議会・坂下区長会から「平成29年度以降も委託契約の継続」の要望書が中津川市に提出されていた。どう検討されたのか。
- ③坂下駅の利用客の状況はどのようになっていますか。
- ④坂下駅は本来JR東海が駅員を配置すべき。と思ういかがですか。
- ⑤高校生や病院利用客の多い坂下駅の駅員配置への住民負担はすべきでない。
- ⑥坂下駅と同時に無人化された南木曾駅や大桑村の野尻駅はどうなっていますか。
- ⑦市の補助金の復活はできないのか。

### 3、坂下病院の有床診療所化について

- ①坂下病院の現在の状況はどうなっていますか。
- ②7月で一般病床廃止という方針だが、坂下病院の入院患者はどうなりますか。
- ③その時の外来への影響は大きいと思いますが、いかがですか。
- ④その時の病院会計は収入が大幅に減少すると思われるがどうですか。
- ⑤療養病床廃止にした場合、利用患者はどうなる。
- ⑥有床診療所にした場合、医師・看護師・検査技師など坂下病院で働く職員はどうなりますか。
- ⑦その時の病院会計の状況はどうなりますか。
- ⑧病院を診療所にした関ヶ原診療所に病院事業部が行かれたそうだが、何を学びましたか。

患那市にも2つの病院があり、患那市立病院は最近建て替えられ、患者数が増加しています。もう一つの上矢作病院は平成29年度、全体として入院患者は少し減少しているが、中津川市からの入院患者数が増えている。
- ⑨上矢作病院から学ぶことはないか。

2年前、病院事業部が診療所化を提案して以来、市長の提案、新公立病院改革プラン、平成29年度の見直しなどそのたびに方針が変更されています。これからも見直しがあります。

このように方針が変わるたびに不安になり、まだ見直しがあるとなるとそこに向けて期待する。市長からやさか地域での説明は1回もない。住民団体が市長に直接説明を聞きたいし、意見を聞いてほしいと申し入れしてもうけてくれない。方針はころころ変わるので不安でたまらない。
- ⑩見直しするというのであれば、住民団体にも会って説明し、話しを聞くべきではありませんか。

最近、病院事業部から坂下病院を守る会に有床診療所の提案がされました。住民の一般病床を残してほしいという思いを汲んでの提案だと思うが、一方で療養病床50床は廃止とすることです。
- ⑪医療的ケアの必要な重度の障害の患者さんが療養病床を利用して何とか在宅療養ができています。その方々の心配にどう応えますか。
- ⑫住民の願いである、一般病床と療養病床を残す方向での見直しはできませんか。